

また、防災協定を締結し、訓練等へ参加する事業者に特に配慮した入札制度を整えた。今後、競争入札において市への貢献度を評価した対応を図ってきたい。

〈その他の質問〉マスコミへの対応について



政新クラブ 伊藤 俊明 議員

「鷹」の字を常用漢字に 復活の動き加速せよ

議員 常用漢字表の改定に際し、追加候補の第1次素案であった「鷹」が第2次素案で外され、大変驚いた。同じ動物でも「熊」「鹿」「鶴」等が残りの納得がいかない。「鷹」は「富士」「鷹三茄子」など多くのことわざや格言に使用され、日本人の心に深く浸透しており、常用漢字への追加の意義は極めて大きいと考える。所見を問う。

市長 「鷹」は、本市が明治22年に三鷹村として誕生以来、名称に用いている。一般の社会生活での使用頻度も高く、教育的・文化的見地から重要性が高い漢字だ。

議員 「鷹」の候補復活に向け、市はいち早く文化庁に要望書を提出した。北海道鷹栖町や山形県白鷹町にも

情報提供をしたと聞く。パブリックコメントへの取り組みも必要だ。対応を問う。

市長 関係自治体との連携も視野に入れ、「鷹」の具体的な用例を示しつつ、積極的に復活を求めていく。

議員 当用漢字表から常用漢字表へ移行した際、削除候補の「繭」が蚕糸業団体や群馬県等から要望が相次ぎ、よみがえったと聞く。「鷹」の常用漢字への追加は三鷹市民の願いであり、何としても実現してほしい。

市長 市として再度要望を出すとともに、市民にも幅広く状況を広報して、パブリックコメント等への意見の提出を呼びかけたい。

〈その他の質問〉学校教育について

「村山談話」と 歴史教科書を問う



政新クラブ 加藤 久平 議員

議員 児童・生徒への歴史教育の観点から、平成7年8月15日に発表された「村山談話」に関連して何う。マッカーサーの発言「日本が第二次大戦に突入した理由の大半は安全保障だった」、ラダ・ビノード・パール判事の発言「日本が戦争を起したのは、侵略の

言、盧溝橋事件に関わる資料、毛沢東の発言、韓国併合、創氏改名など、村山談話の趣旨を否定できる発言や資料等について教育長はどのように認識しているか。

教育長 評価・コメントすることは差し控えたい。

議員 村山談話の影響は、児童・生徒の愛国心、日本人としての誇り、郷土愛、国旗を尊重する態度等の意識の低下につながっていると考え。あらゆる角度の歴史認識が反映されるような教科書採択が必要だ。歴史教科書の中で愛国心などどのような児童・生徒に育まれているのか聞く。

教育長 本市教育は、あくまでも学習指導要領の趣旨にのっとって進めている。

〈その他の質問〉市長と職員の方について

学校教育において 規範意識の醸成を図れ



政新クラブ 吉野 和之 議員

議員 学校教育における規範意識の醸成の必要性が教育基本法等で規定されている。規範意識を教育の現場でどのように指導していくのか基本的考え方を問う。

教育長 道徳や生き方・キャリア教育等の小・中一貫教育カリキュラムに基づき奉仕体験活動などを通して児童・生徒の規範意識を高める指導を展開していく。

議員 規範意識の欠如が学校教育における様々な問題を引き起こしている。いじめ問題もモラル低下が大きな要因と考えるが、現状と対策について所見を聞く。

教育部長 いじめの認知件数は減少しているが、依然として発生していることから、未然防止に向けた人権

識の低下につながっている。歴史認識が反映されるような教科書採択が必要だ。歴史教科書の中で愛国心などどのような児童・生徒に育まれているのか聞く。

教育長 本市教育は、あくまでも学習指導要領の趣旨にのっとって進めている。

〈その他の質問〉市長と職員の方について

議員 学校教育における規範意識の醸成を促したい。規範意識を醸成するためには、規律に違反した場合には厳しく罰する「ゼロトランス方式」を導入すべきだという考え方もある。ゼロトランスについての基本的な見解を問う。

教育部長 文科省において米国の一定の成果を踏まえ、生徒指導のあり方の参考として調査研究を進めているものと理解している。

議員 ICT社会においては情報モラルをいかに身につけるかが最重要課題だ。モラル教育の指導のあり方について取り組みを聞く。

教育部長 今後、児童・生徒の実態に応じて指導の工夫を凝らしたモラル教育の実践を展開していきたい。

緊急時に備え、BCPPで まちの安全確保を



公明党 赤松 大一 議員

議員 災害時等でも業務を遂行する責務がある行政や

BCPPとは短時間で組織機能を回復させ、業務の継続を図るための計画で、東京都地震時のBCPPを策定しており、本市でも三鷹市地域防災計画の中でBCPPの策定を計画している。策定の進捗よく状況を聞く。

市長 計画の作成は平成21年度を予定している。

議員 BCPPを実践するには災害時に参集する職員を確保する必要がある。職員の自宅における安全確保についての取り組みを聞く。

市長 防災ポケットメモを配付し自宅での安全確保に努めるよう指導している。

議員 中小企業や商店が被災した場合、経営体力の面からも早期の営業再開は困難になる。中小企業や商店こそBCPPを策定すべきだ。市内企業等のBCPP策定状況を把握しているか。

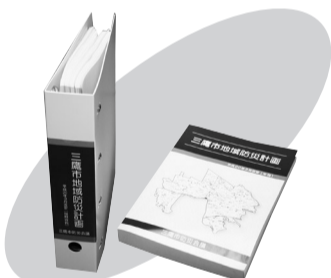
総務部長 現在、把握していない。

議員 都や東京商工会議所でも企業のBCPPの策定を積極的に支援していく方針だ。市は、市内の企業や商店に対し、BCPPの重要性をPRし、BCPPを策定できるよう支援すべきと考え。都や商工会等と連携したセミナーの開催や、相談窓口の設置はできないか。

総務部長 事業者団体等と連携・協力し、BCPPの策定を積極的に支援したい。

議員 新型インフルエンザのパンデミック対策としてのBCPPも策定すべきだ。

市長 新型インフルエンザ対策行動計画の策定後、対応マニュアルを作成するとともに、業務ごとのBCPPの作成を進めていく。



三鷹市地域防災計画

内部障がい者に 思いやりのまちづくりを



公明党 粕谷 稔 議員

議員 内部障がい者、内臓機能やHIVによる免疫機能の障がい者、抱える問題が視覚に伝わりにくく認知度が低いため、様々な誤解を受けやすいと聞く。こうした中、内部障がい者・内臓疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会がハート・プラスマークを作成し、公共施設や交通機関等に普及させる活動を始めた。しかし、インタ

ーネットを基本とした啓発運動のため、あまり周知されていない。障がい者の実態調査では、2001年は総数24万5千人のうち内部障がい者84万9千人、2006年は38万3千人のうち10万人と増加している。この間、政府広報等で政策の充実の見解が示され、自治体においてもマークの導入が進んでいる。高環境・高福祉を目指す三鷹市におい

て、駐車スペース等で積極的にマークの導入を図り、高次脳機能障がいの人、妊婦や高齢者等を含めた思いやり駐車場の設置を推進すべきだ。また、広報やホームページ等でマークの積極的な周知を進めてほしい。

健康福祉部長 三鷹市の内部障がい者は、約3千900人の身体障がい者のうち3分の1弱であり、外見にはわからないため、様々なところで不快な思いをしている。市はマークの意義や普及活動の実態を認識しているが、当事者等のグループから具体的な要望を受けていない。ただし、思いやりや助け合いなど心のバリアフリーの観点から指摘の点を含め検討していきたい。

〈その他の質問〉行政主導による多様な人材登用について/自治体連携による地域活性化について

子どもが元気な 社会を目指して



公明党 寺井 均 議員

議員 文科省は全国の小5年生、中学2年生を対象に昨年実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を本年1月21日に公表した。調査結果をどのように評価しているか問う。

教育長 各学校で、体力向上に向けた具体的な対策を計画的に実施するための貴重な資料ととらえている。

議員 今回の調査では、全国的な子どもの体力低下が明らかになった。こうした中、本市の児童・生徒の体力、運動能力の向上に向けた取り組みについて聞く。

教育長 新学習指導要領に基づいて作成した小・中一貫教育カリキュラムにおいて、体力づくり運動を小学1年生から実施するよう位置づけて取り組んでいく。

議員 朝食の摂取状況・睡眠時間などの生活習慣と、体力・運動能力には相関関係が見られる。児童・生徒の生活習慣、食習慣、運動習慣の課題について問う。

「みたか議会だより」に関するお問い合わせは、議会事務局までご連絡ください。

電話 44-10249
FAX 45-11031